

腎・膀胱・前立腺がんセンター

泌尿器がんに対する、質の高い臓器温存療法の開発に注力。
最小の傷と痛み、
最大限の機能温存（腎機能、膀胱機能、前立腺機能）、
早期退院を図っています。

外来診療室
QRコード



外来日	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○

得意とする疾患と担当医師

腎がん

◆正確な腎がんの診断：

小さな腎腫瘍では腎がんの診断で手術を行った際、病理検査で良性腫瘍であることがまれではありません。画像診断（CT、MRI）の精緻な解析、適切な生検適応により、正確な腎がんの診断を行い、良性腫瘍に対する不要な手術を回避しております。

◆腎血流非遮断・ミニマム創内視鏡下腎部分切除：

腎機能保持を目的とし、腎血流を保ったまま行う低侵襲手術です。

膀胱がん

◆低侵襲浸潤膀胱がんに対する膀胱部分切除を組み込んだ四者併用膀胱温存療法（TUR+放射線+化学療法+ミニマム創内視鏡下膀胱部分切除）

◆浸潤性膀胱がんに対するミニマム創内視鏡下膀胱全摘除

前立腺がん

◆がんの診断と状態をより正確に評価可能とするMRI-超音波弾性融合ガイド下前立腺生検：

生検を行う際の超音波上での前立腺の形態に合わせて、MRIにてがんの疑われる部位を、超音波画像上に重ね合わせて表示させ（MRI-超音波弾性融合）、その部位への穿刺ガイドを行う技術です。

◆ロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）前立腺全摘除

◆ミニマム創内視鏡下前立腺全摘除

◆前立腺全機能温存治療としての小嚢嚢部分治療：

がん治療と機能温存の両立を目指した新しい治療法。最新技術で治療が必要な部分を検出し、その部分を選択的に治療します。

◆尿失禁に対する人工括約筋手術

（横山 みなと、森山 真吾）

担当医師/上記共通：医師指定がない治療は下記いずれの医師もベストな対応をいたします。
藤井 瑞久、松岡 剛、横山 みなと、吉田 宗一郎、田中 一、上原 翔、森山 真吾、福島 啓司、
福田 翔平、戸出 真宏、内田 裕将

特色・診療内容

泌尿器科臨床の多くで世界トップレベルの医療を提供できる診療体制をとっています。全ての泌尿器がんおよび前立腺腫瘍を対象として、世界標準の低侵襲手術であるロボット支援手術、または当科で開発したミニマム創内視鏡下手術を施行しています。浸潤性膀胱がんの膀胱温存、腎がんの無阻血・無縫合腎部分切除、前立腺小嚢嚢部分治療を開発し施行しています。

お願い

ご紹介の際には、「腎・膀胱・前立腺がんセンター」宛てに紹介状を記載していただく予約がスムーズです。よろしくお願いたします。



初診予約受付（地域連携室）
TEL 03-5803-4655
（平日9:30～16:00）

緊急プライオリティコール（緊急相談）
TEL 03-5803-4900
（365日24時間対応）

受診案内（患者相談室）
TEL 03-5803-4131
（平日8:30～17:00）